YAMAGATA★IBUKI Vol.122

山形いぶき

YNA　夢・ナーシング・愛

平成25年度会員数
（8/20現在）

保健師	396
助産師	365
看護師	6,360
准看護師	249
計	7,370

Photo：タチアオイ

TOPICS

- 新役員あいさつ
- 各職能だより
- 「みんなで話そう　看護の出前授業」
- 支部活動
  協会立訪問看護ステーション活動
- ナースセンターだより
- 「看護の日」及び
  「看護週間」事業／夏まつり

山形県看護協会ホームページ ▼

http://www.nurse-yamagata.or.jp

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。

▼ 山形県看護協会　検索

機種によってはアクセスできない場合があります

平成25年度移行記念式典・通常総会を終えて

副 会 長　後藤　道子

残暑お見舞い申し上げます。

山形県内は7月に入り、記録的な豪雨による道路の陥没や河川の氾濫、二次的災害として数十年ぶりという広域的な断水がありました。飲み水の確保では、県内はもちろん県外からの給水支援があり、「困っている時はお互い様」という東北の“絆”やつながりを再確認されたのではないでしょうか。そして、多大な被害を受けた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに速やかな復旧を願うばかりです。

さて、山形県看護協会は、4月1日より公益社団法人山形県看護協会として、6つの協会立訪問看護ステーションとともに新たなスタートを切りました。去る6月14日に公益社団法人移行記念式典及び通常総会が開催され、会員皆様のご協力により盛会に終えることが出来ましたことに感謝申し上げます。そして、会員皆様には、看護活動を通じて人々の人間としての尊厳の維持と、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康生活の実現に貢献するという使命のもと、より公益性を自覚し、看護職としての役割を発揮していただきたいと思っております。

通常総会では、報告事項はじめ第1号議案から第7号議案までを審議し、全ての議案が承認されました。そして、5つの重点事項として、(1) 看護職が働き続けられる職場づくりの推進と普及、(2) 看護の質向上のための継続教育の強化、(3) 長期的な療養生活を支える在宅ケアの強化、(4) 職能委員会活動の充実、(5) 公益社団法人に伴う役割発揮を果たすため活動していきます。また、今年の11月からは、山形県看護協会訪問看護会館の建設工事が始まります。医療を取り巻く社会環境の変化とともに、病院から在宅医療へとシフトしてきている今、訪問看護の充実に向け取り組んでいきたいと思っております。

最後に、会員皆様が明るく元気に働き続けられ、そのパワーが看護に活かされることを願っております。

新役員あいさつ

よろしくおねがいします!!

副 会 長　松田 光子

保健・医療・福祉等の様々な現場や地域で日々活動している看護職の皆様が、健康で生き生きと活動することを支援する看護協会であるために、微力ですが副会長として頑張りますのでよろしくお願いいたします。

協会が身近で頼れる機関になれれば

常 任 理 事　服部 秀子

このたび、常任理事をお引き受けすることになりました。公益社団法人となり、協会の役割や存在が大きく、また期待されることも多い事と思います。そのように大事な時期に就任し、大役に身が引き締まる思いと不安でいっぱいですが、何事も勉強・経験と思い頑張りたいと思います。

おもに教育部門を担当しますが、皆様に協会が身近な存在で頼りになれる機関と思っていただけるよう、今まで協会の一員で利用させていただいた立場から職員の一員としての立場となり、思いを大切に微力ながら頑張っていきたいと思います。ご指導よろしくお願いいたします。

新役員として

書記担当理事　中村 美穂

今年度より、書記を担当することとなり、正直責任の重大さにかなりのプレッシャーを感じていますが、「正確な記録」をモットーにがんばりますので、よろしくお願いします。

会計理事就任にあたって

会計担当理事　石澤 純子

この度、会計理事を担当することになり、大きな責任を感じております。会員並びに役員の皆様のご意見、ご指導を仰ぎながら会計として誠実に会務運営を精一杯務めさせていただきます。宜しくお願い致します。

最後まで安心して生活できるために

訪問看護総括理事　鈴木 郁子

在宅療養者や家族が安心して地域で生活を送るために訪問看護ステーションの役割発揮が大きな課題であり、訪問看護の質の向上と普及の推進、多職種の意見交換や理解を深め、「顔の見える関係づくり」を強化し在宅ケアの充実を図っていきたいと思います。

監事の任について

監　事　加藤 明子

公益社団法人となった新年度に、監事の任につきました。7,000人を超える会員の皆様とともに、公衆衛生の向上を図る公益目的事業の推進に少しでも貢献できればと考えています。未熟ではありますが、精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

公益社団法人移行記念式典及び平成25年度通常総会開催

常 任 理 事　大竹　久子

山形県看護協会は、平成25年4月1日公益社団法人としてスタートし、6月14日(金)の平成25年度通常総会の前に、公益社団法人移行記念式典を開催いたしました。

川村会長は挨拶において、公益社団法人移行に伴う諸事情への対応に2年かかったことや申請書類作成に当たっての取り組み等の経過を報告すると共に、公益社団法人としての役割発揮や事業運営に当たっての決意を述べられました。また、来賓の山形県健康福祉部阿彦忠之次長、山形県医師会有海躬行会長他の方々からは、お祝いの言葉と公益社団法人山形県看護協会の今後の活動に期待する言葉をいただきました。参加会員には公益社団法人への移行報告と認定書を掲載した記念式典の冊子が配布され、公益社団法人山形県看護協会員として法人移行を確認し合いました。

公益社団法人山形県看護協会として1回目の通常総会の式典では、春の叙勲者2名、日本看護協会長表彰2名の紹介があり、当協会の看護功労者感謝状贈呈者76名の表彰が行われました。

続いての審議は、384名の会員が出席し開始となり、平成24年度の事業報告の後、第1号議案の「公益社団法人山形県看護協会定款の一部改正(案)」から、第6号議案「平成25年度収支予算(案)」まで審議され承認されました。第2号議案の「協会立訪問看護ステーション会館(仮称)の建設等について(案)」の承認により、名称が「山形県看護協会訪問看護会館」と決定し、今後、平成26年3月完成を目標に建設が進められることになります。また、今回は第7号議案として「平成25年度改選役員・推薦委員並びに平成26年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙」が提案され、選挙は新たに整備された選挙規則にのっとり、選挙管理委員会のもと実施されました。改選者数に対し候補者数が同数であったことから、候補者は全員信任されました。

通常総会後は今年も三職能に分かれ、それぞれ各職能が抱える課題をテーマとした研修を開催いたしました。どの会場も盛況で参加者からは大変好評でした。詳細は各「職能だより」のページに譲ります。

なお、会員の皆様には協会活動についてホームページや広報誌「山形いぶき」を通してお伝えしていく考えでおります。

次世代へ繋ぐ組織の可視化をめざして

山形支部理事　田代 久男

公益法人化元年、公共性の高い支部事業を再考すべく新たな扉が開かれました。法令を遵守しながらガバナンス体制の充実と開かれた組織開化により、自信と誇りをもって元気で楽しく働き続けられる環境づくりができるよう次世代への架け橋として努力いたします。

庄内は一つ、ニーズに沿った活動を

庄内支部理事　叶野 真弓

新しい庄内支部が稼働しました。エリアが広くなり顔が見えにくくなるなどの課題はありますが、もともと庄内弁という同一言語を用い、文化的にも庄内は一つですから、酒田、鶴岡それぞれの良いところを活かし、公益法人としての役割を果たしながら、会員皆様のニーズに添った活動を展開していきたいと思います。鶴岡支部長の残任期間1年間ではありますがよろしくお願いいたします。

置賜支部長の任について

置賜支部理事　工藤 真紀子

山形に転勤してまいり4年目になります。山形については勉強不足ですが、役割を通し少しずつ学んでいきたいと思います。協会の方々、支部の方々のお力を借りながら、山形県看護協会の事業推進の為にお役に立てる様努力してまいります。よろしくお願い致します。

全区理事になって

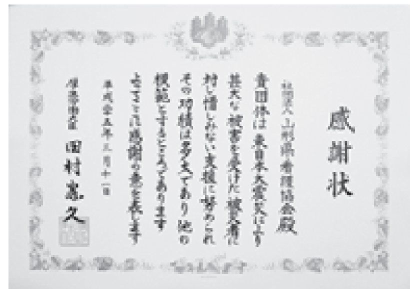
全区理事　久保田 美樹

初めてで戸惑い、教えていただきながらですが、山形県内に働く准看護師の代表として、微力ですが2年間の任期中に皆様により多くの情報を伝えられるよう、山形県看護協会の活動に参加し、協力してまいります。よろしくお願いいたします。

東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状をいただきました

平成25年5月14日、山形県庁貴賓室で、標記厚生労働大臣感謝状を吉村県知事より拝受いたしました。

会員皆様のご支援、ご協力の賜と感謝申し上げます。



感謝状

公益社団法人山形県看護協会殿

貴団体は東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者に対し惜しみない支援に努められその功績は多大であり他の模範とするところであります

よってここに感謝の意を表します

平成二十五年三月十一日

厚生労働大臣　田村憲久

保健師 職能だより

平成２５年度も保健師の専門性発揮と質向上に向けて活動していきます。所属の枠を超えて情報を発信し共有することも重要です。皆様のご意見、ご協力よろしくお願いします。

講師 中板育美日本看護協会常任理事

保健師職能委員

委員長	鈴木　ちはる	自宅
山形支部	阿部　美奈子	村山保健所
山形支部	吉田　美智子	山辺町地域包括支援センター
最北支部	叶内　陽子	新庄市役所
庄内支部	阿部　百合	酒田市民健康センター
庄内支部	庄司　由貴	庄内保健所
置賜支部	佐藤　智香子	南陽市役所

１０年ぶりに見直された新指針を熱心に聞き入る

研修会報告　平成２５年6月１４日実施・５０名参加

日本看護協会常任理事で、保健師職能委員長の中板育美氏を講師に迎え、「改正後保健師活動指針による保健活動の推進」と題し講演をいただきました。10年ぶりに見直された新指針について、講師から改訂のための検討会の委員として参加した立場で、指針策定にかける思いや背景・経過を聞くことで、新指針の考え方や方向性が理解できた。また、保健師活動の3コア「みてつないで　うごかす」「地区活動から課題発見『根幹』から課題解決を図る」「予防介入の重視」を中核的な保健師の機能としながら活動を展開することの重要性を再認識したなど受講者から多くの感想が寄せられました。

さらに、研修後のアンケートに、抱える問題や意見などを丁寧に記入していただきありがとうございました。今後の委員会活動に活かしたいと思います。

第2回保健師職能研修会のお知らせ

日　　時：**平成２５年９月２７日（金）**　10:00～16:00
会　　場：山形県看護協会会館・看護研修センター
テ ー マ：**保健活動パワーアップのためのミーティング**
内　　容：保健師の歴史に学ぶ　～活き活きとした保健師活動のため～
　　先輩保健師に学ぶ　～地域と共に歩む力を取り戻すために～
講　　師：木村　哲也（歴史・民俗学者）
　　『保健師ジャーナル』連載「保健師雑誌に見る戦後史」
　　山形県看護協会　鈴木　郁子
　　鶴岡市地域包括支援センター　叶野　真弓
受 講 料：会員２５００円　非会員５０００円

助産師 職能だより

キャリアパス・クリニカルラダーについて、熱く楽しく！

講師 福井トシ子日本看護協会常任理事

平成25年度も、助産師が主体的に働き続けられるよう助産師の質向上と専門性発揮に向けて活動していきたいと思います。特に産科の混合病棟化と出向システムについての検討、助産師クリニカルラダーの理解と普及についての検討に力を入れて活動していきます。皆様のご意見、ご協力をよろしくお願いいたします。

活動目標

助産師の質向上と専門性を活かした活動を推進する

研修会報告　平成25年6月14日（金）通常総会後開催、参加者36名

今回は日本看護協会常任理事の福井トシ子氏を講師に迎え、「これからの助産師に求められるもの」と題してご講演をいただきました。助産師が自らのキャリア発達の可能性を可視化でき、助産師としての専門性・自律性を高めるために開発されたキャリアパス・クリニカルラダーについて、熱く楽しくそしてわかり易く講演していただきました。キャリアパスを使って生涯助産師としての人生設計を立て、クリニカルラダーを使って自分の助産実践能力を全国共通レベルで適切に評価することで、より質の高い創造的な助産実践に繋がると実感できました。参加者からは、自分が今日から何をやるのかを考える機会になった、モチベーションが上がった、勇気とパワーをもらった等ポジティブな声が沢山きかれ、とても有意義な研修会となりました。

第２回助産師職能研修会のお知らせ

日　時：**平成25年11月9日（土）**　10:00～15:30
会　場：山形県看護協会会館・第3研修室
テーマ：**先輩助産師の実践から学ぶ～産婦に寄り添うお産に向けて～**
内　容：助産師の専門性発揮のためのスピリッツの再考と助産技術研修
講　師：矢島床子助産院院長　矢島床子

助産師職能委員

委員長	大場　恵子	自　宅
山形支部	菅原　麻里子	山形済生病院
山形支部	間宮　寿美	山形県立中央病院
山形支部	遠藤　美和	天童市民病院
庄内支部	高橋　美樹	日本海総合病院
庄内支部	会津　志雅子	鶴岡協立病院
置賜支部	片倉　恵美子	公立置賜総合病院

看護師 職能Ⅰ（病院領域）だより

看護師職能Ⅰ（病院領域）の抱える問題を明らかにし、問題解決のために活動をしていきます。昨年に引き続き働き続けられる職場づくりの推進と普及に取り組んでまいります。
会員の皆様のご意見、ご協力をよろしくお願いします。

看護師職能委員Ⅰ

委員長	齋藤　順子	公立置賜長井病院
山形支部	豊嶋　三枝子	山形県立保健医療大学
山形支部	後藤　智子	寒河江市立病院
最北支部	中里　ひろみ	山形ロイヤル病院
庄内支部	飯塚　知美	本間病院
庄内支部	粕谷　朱美	山形県立鶴岡病院
置賜支部	尾形　千夏子	公立置賜南陽病院
全支部から	柴田　照美	新庄徳州会病院
全支部から	久保田　美樹	天童温泉篠田病院

＜医療現場で働く環境改善のレポート＞を募集！

職場の勤務環境改善にチャレンジしているみなさん、是非教えて下さい。

「ガイドラインの一部を実践してみたよ。」「こんなに大変だったところをこのように工夫してみた。」「ちょっとだけ変えてみたのにこんなに楽になった。」等、５００字程度にまとめて山形県看護協会宛に投稿してください。
病院概況：病床数、病床稼働率、平均在院日数、看護基準、看護職員数（補助者数）等の記入もお願いします。
（締め切り9月30日）

＜看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会＞通常総会後に開催

講　　演：「高齢者のEnd Of Life Care」　～豊かな最晩年をつくるために～
講　　演：医療法人社団慶成会　青梅慶友病院　看護介護開発室長・老人看護専門看護師　桑田 美代子
参加人数：310名
内　　容：　講師は、「老い」は私たち全員にあり、すべての人が「老い」に向かって生きている。そのため人生の最晩年に自分ならどうして欲しいか、どんなケアをしてほしいかを考えて、ケア、看護をしていくことが大事であると述べられました。人生最期の時を輝かせるためには、高齢者の特徴をふまえて本人が望む最期を、本人、家族、チームと共に語り合っていく事、そのコーディネートは看護師の役割であることを学びました。
　参加者からは、「その人らしい生活をサポートしていきたい。」「看護・介護をするうえで自分や家族がされて嫌なことはしないのは当たり前だけどなかなか難しい。」「患者さん家族のいろいろな思いを引き出してあげて、一緒に最期のお手伝い、ケアができればいいなあと感じた。」等の感想がありました。

“人生最期の時を輝かせるために”そのコーディネートは看護師の役割

講師
青梅慶友病院
桑田美代子氏

看護師 職能Ⅱ（介護・福祉・在宅領域）だより

2年目のスタートです!!

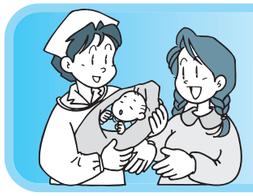
山形県看護協会は、これからの超高齢者・多死社会を見据え、介護領域や在宅医療における看護の機能強化と、現場の課題やニーズを届けてもらう仕組みを作るために**“看護師職能委員会Ⅱ”**を立ち上げ2年目のスタートです。看護師職能Ⅱで福祉施設で働く看護職リーダーを対象とした研修を企画しました。

日　時：**平成25年9月28日（土）**
10:00～12:30　**講義**
看護施設の特徴と看護職の役割
～看護リーダーとして求められるもの～
・看護施設で求められる看護のケアの視点
・看護施設の看護リーダーの役割
・他職種と連携を図るために
講　師：滋賀県済生会特別養護老人ホーム荘長
滋賀県済生会地域ケアセンター長　九里美和子（看護師）
13:30～15:30　**グループワーク**
・介護施設における看護職の現状と問題を明らかにする。
・チームケアの一員として専門性をいかに発揮していくか

看護師職能委員Ⅱ

委員長	岡田　陽子	済生会山形訪問看護ステーション
山形支部	山﨑恵美子	特別養護老人ホームみはらしの丘
山形支部	横山　幸子	自　宅
最北支部	柿﨑由美子	訪問看護ステーション新庄
庄内支部	北田　尚子	介護老人保健施設徳田山
置賜支部	菊地　誠	南陽訪問看護ステーション

新しい分野です。一緒に介護領域・在宅医療を支える看護師の魅力をアピールしていきましょう!!



2013年「看護の日・看護週間」事業
『みんなで話そう 看護の出前授業』
6、7月県内の中学校・高校で実施！

実際に働いている看護職が学校を訪問し、講師として、「命の大切さ」や「生命の誕生」「看護職の仕事・役割、看護職になる方法」などに関する授業を行うことで、生徒に生命や性、キャリア形成、看護の仕事などへの理解と関心を促すことを目的として、県内では、6月6日から授業を開始しており、好評を得ております。

①6月6日（木）山形市立蔵王第2中学校 1~3年生8名、職員7名
講師：山形県立総合療育訓練センター　看護師　寒河江淑子氏

②6月13日（木）山形城北高等学校1,2年生　670名
講師：山形県立河北病院　助産師　矢口佳奈氏

③6月22日（土）山形市立高楯中学校 1年生 71名
講師：山形県立河北病院　助産師　生亀公子氏

④～⑩6月14日～7月1日
山形県立寒河江工業高等学校1、3年　272名
講師：山形厚生看護学校　助産師　佐藤陽子氏　6/14,25
山形県看護協会　助産師　山口節子氏　6/21.27
山形県立保健医療大学　助産師　菊地圭子氏　6/26
保健師　和田由紀子氏　6/26
山形済生病院,さとうウィメンズ　助産師
斎藤万代子,鳴海庸子氏　7/1

⑪7月11日（木）山形県立新庄北高等学校 2年生 200名
講師：酒田市立八幡病院訪問看護ステーション　助産師　後藤敬子氏

⑫7月17日（水）鶴岡工業高等専門学校 1年生160名
講師：鶴岡市立荘内病院　助産師　河田夏子氏

⑬7月18日（木）最上町立金山中学校　1年生71名
講師：酒田市立八幡病院訪問看護ステーション 助産師 後藤敬子氏

看護のしごとっていいなぁ…

命のはじまりはこの針穴です。みえるかな？

思い出すなあ～！

赤ちゃんの誕生を、みんな真剣にきいていました。

生命の誕生に感動！

生徒の感想
- 相手を思いやることと自分の身体を大切にすることが大事…
- 命ができることはとても幸せなこと
- 育児をするのが楽しみ

＜取材を通して＞
妊娠、避妊、新生児、性教育の講義はわかりやすく興味深いものでした。○×の質問をしたりと和む場面もありました。性病や新生児などでは真剣に聴く生徒や友達同士で話す生徒も多く見られました。鶴岡工業高等専門学校を取材しましたが、講師は看護師、助産師計4人のメンバーを選抜し、まとまりあるわかりやすい講義でした。生徒は目を輝かせ、いい学びができたことと思います。

広報委員　我妻 瑞枝

看護の出前授業・看護への道のPR活動を通して
「看護の心」普及推進委員長　寒河江 淑子

「看護の心」普及推進委員会は、一昨年度まで「まちの保健室」を主に活動をしてまいりましたが、昨年度より小中高校生を対象とした看護師による看護の出前授業の実施、イベントなどでの看護への道のPR活動を行っております。
出前授業では、限られた時間の中で、看護職の仕事の魅力を如何に伝えられるかなどの難しさに直面しながらも、生徒さんからは心温まる感想文をいただき、経験は少ないながらも委員会の活動が充実してきている喜びを実感しているところです。
今後も、小中高校生・一般の方へのPR活動を通し、一人でも多くの方に看護職について知っていただけるよう委員一同、スキル向上に努めていきたいと思います。

山形市立蔵王第二中学校・蔵王第三小学校での看護の出前授業の様子

「まちの保健室」事業推進委員会

兵庫県看護協会の兵庫方式「まちの保健室」を見学して
委員長　五十嵐 利恵

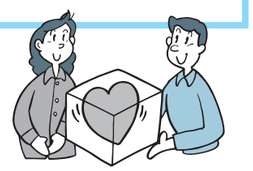
平成25年7月27日、「まちの保健室」活動を積極的、かつ多彩な取組みを行っている兵庫県看護協会の兵庫方式「まちの保健室」を見学してきました。
阪神淡路大震災後の看護職ボランティアの活動と復興にはじまった兵庫方式「まちの保健室」の成り立ちから現状、そして地域住民や他職種の方々とともに取組んでいる伊丹市西桑津高層住宅の集会室で実施されている「まちの保健室」は、主催者・参加者・ボランティアの方々も笑顔で活き活きと活動している姿に元気をもらってきました。
この見学を山形県看護協会の「まちの保健室」にも活かしていきたいと思います。
兵庫県看護協会の会長様はじめ皆さまには本当にお世話になりました。

兵庫県伊丹市西桑津高層住宅の集会室で行われている「まちの保健室」にて

八幡悦子氏より講演

岩室紳也氏より講演

性の健康を支援する委員会



『性の健康教育研修を終えて』
委員長　遠藤 美穂子

平成25年7月25日（木）、性の健康を支援する委員会の講演会を開催しました。
午前中はNPO法人ハーティ仙台　代表理事・助産師　八幡悦子氏をお迎えし、「思春期の性の健康とDVについて」と題し、DV(デートDV)の現状とその防止教育についてご講演をいただき、『教育はワクチンである』という言葉が印象的でした。午後は公益社団法人地域医療振興協会　ヘルスプロモーション研究センター　センター長岩室紳也氏より、「男性の性と性の健康教育」と題し、男性の性についてユーモアを交えて、わかりやすくご講演をいただきました。
参加者からは、「男子の性に関しても幼少時期から正しい知識を伝えることが必要だと感じた。」、「女性から男子学生に男子の性をどのように伝えたら良いか迷いもあったが、知識をきちんと伝えることが大事だと感じた。」などの意見が寄せられ大変好評でした。本講習会の学びが今後の性の健康支援活動、そして参加者個々人の生活の中で活用できることを期待しております。

平成25年度 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催

主　　催：山形県看護協会、日本看護協会
開 催 日：ワークショップ
9月11日（水）9:30～16:30
9月12日（木）9:30～16:00
※11日9:30～12:30は公開講座とします。
会　　場：山形県看護協会会館　3F第1研修室

公開講座 参加者募集！

ワークショップ参加施設はこちらです

- 遊佐病院
- 米沢市立病院
- 公立置賜総合病院
- 山形済生病院（インデックス調査のみ）
- 篠田総合病院
- 公立高畠病院
- 鶴岡市立荘内病院

看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進ワークショップとは…
看護職の働き方をなんとかしたい…。看護職が定着する組織にしたい！という病院の検討メンバーが集まって、病院ごと現状分析をし、改善策を検討します。
★看護管理者・病院経営者・事務担当者等　多くの方々の参加をお待ちしております。

連絡先：山形県看護協会　TEL:023-685-8033　E-mail:jigyou@nurse-yamagata.or.jp
申　込：公開講座受講希望の方は、山形県看護協会まで　HPよりダウンロードし、お申込みは8月末日までとします。

★支部活動★

●最北支部の活動状況

最北支部広報担当　**森　俊和**

川村会長から講演の様子

最北支部では研修会として第1回は7月16日（火）東根市さくらんぼタントクルセンターで山形県看護協会会長　川村良子氏を招き「山形県看護協会の今後の活動」と、色彩心理士　菅井祐子氏より「今、あなたは何色?」～心のメッセージに耳を傾けてみませんか～を実施しました。参加した方の感想を、紹介させていただきます。川村氏から看護師の一言が患者様、ご家族へ勇気を与えることもあるとお聞きし初心を忘れず気をつけていきたい。菅井氏から実技も交えての講演でリフレッシュすることができた、好きな色、嫌いな色は、その人がどんな経験をしたかで決まるという話も印象的だった。自分の心に耳を傾ける時間も仕事をしていくうえで大切な時間であることを知った。クレヨンやパステルを使用する機会は少なく子供の時を思い出しながら、心がホッとした時間を過ごすことができた。

「今、あなたは何色?」研修会の様子

第2回は、11月22日(金)研究発表会を予定しています。講師に山形大学医学部看護学科地域看護学講座助教大竹まり子氏をお招きする予定です。

本年度も、まちの保健室を新庄と東根で行います。バルーンアートも取り入れ参加した地域の皆様に楽しんでいただける内容です。最北支部では、これからもより多くの会員の皆様が参加できるような研修会を実施していきたいと思います。

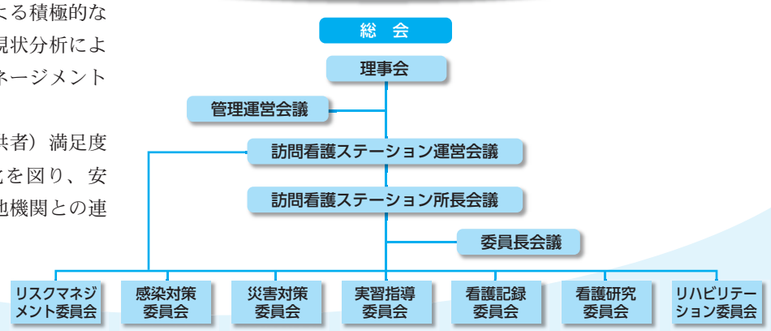
～協会立訪問看護ステーション　居宅介護支援事業活動～

訪問看護総括理事　**鈴木　郁子**

協会立訪問看護ステーションは、全ての地域住民が最期まで安心して生活が送れるよう24時間365日、質の高い看護で医療と生活の両面から、特に困難事例や最後の砦的な役割や医療依存度の高い利用者を積極的に受け入れる等、あらゆる場面で多種多様なニーズに応じ支援します。平成23年度から協会立訪問看護ステーションとして『6つは一つである』という共通認識を持ち、月例の実績報告検討同行訪問・マニュアル作成・リハビリ部会の立ち上げ等6ステーションの統一化に努めてきました。特に今年度は訪問看護事業運営の円滑化、看護の質の向上、関係機関との連携により訪問看護事業の普及推進、ステーション間の情報共有化を図り統一性・整合性を高めることを目標に、７つの委員会活動、委員長会、定例の所長会、運営会議を開催し組織体制の強化を図っています。また居宅介護支援事業では専従ケアマネージャーによる積極的な利用者の受け入れを行うと共に、現状分析による課題検討を重ね質の高いケアマネージメントの提供を目指しています。

今後も顧客（利用者及びケア提供者）満足度の高いケアや医療安全対策の強化を図り、安全・安心な看護サービスを提供、他機関との連携協力のもと地域への貢献・結びつきを大切にしながら日々努力していきます。

訪問看護ステーション組織体系



第２４回山形県看護実習指導者講習会に参加して

二本松会山形さくら町病院　**鹿間 昭彦**

講習会に参加して、講義では青年期の特徴、実習の評価をはじめ教育や医療の歴史の流れ、人との関わり方を学び、グループワークでは実際に看護学生と直接話をして実習についての思いを聞け、学びの多い時間を得ることができた。特に自分にとって考えさせられたのは看護論の講義だった。改めて自分の看護観とは何なのか、日々の業務をこなしていく時どんな思いを持ってやっていたのか、ただやるだけになっていなかっただろうかなど、自分が日頃行っている看護について見つめ直す機会が持てた。

今回の講習に参加するにあたり、職場で実習指導者として関わっていなかったため始めは抵抗があった。しかし、実際に講習会を終えてみるとあっという間に過ぎ、講習会のメンバーにも恵まれ楽しく学ぶことができた。この研修での学びを実習指導だけではなく、今後の業務、人との関わり方に活かしていきたいと思う。

理事会等の報告

平成25年6月25日（火）　午前：新・旧役員の引き継ぎ、午後：第4回理事会

主な審議事項
1．平成25年度通常総会の評価
2．理事会の日程について
3．平成25年度第1回合同委員会開催について
4．平成25年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について

平成25年7月6日（土）　平成25年度第1回職能・常任・特別・認定看護管理者教育課程教育運営委員会並びに支部長会議

主な審議事項
1．平成25年度日本看護協会・山形県看護協会の活動方針について
2．委員会の運営について
3．各委員会の諮問・審議事項について
4．各委員会の活動計画の具体化
5．各委員会の活動計画の発表
6．支部長会議の報告

平成25年7月30日（火）　第5回理事会

主な審議事項
1．平成25年度4～6月の事業・会計報告＜承認＞
2．平成25年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会の議題について＜承認＞
3．山形県看護協会災害支援活動要綱（案）について＜承認＞

平成25年8月6日（火）　支部会計担当との打ち合わせ

「会計担当者の役割と処理業務」について講話と質疑　　講師：佐藤税務会計事務所　稲毛つや子氏

4月～8月の山形県看護協会事業実施状況

平成25年5月4日(土)　看護師等職場説明会
平成25年5月18日(土)
「看護の日」のイベント「山形県看護協会健康まつり」
平成25年5月21日(火)～7月19日(金)　山形県実習指導者講習会
平成25年5月30日(木)～8月7日(水)
認定看護管理者ファーストレベル教育課程
平成25年6月4・5・6日(火・水・木)
日本看護協会通常総会及び全国職能交流集会へ各支部選出代表を派遣
平成25年6月14日(金)
公益社団法人移行記念式典及び通常総会、職能別研修会
平成25年6月22日(土)置賜支部、6月29日(土)庄内支部、
7月16日(火)最北支部、7月19日(金)山形支部
各支部第1回研修会の開催
平成25年8月10日(土)　看護学生フレッシュ説明会
平成25年8月14日(水)　夏まつり

INFORMATION

◆「日本看護協会会員手帳2014年版」の予約注文について

ご希望の場合は、施設ごと取りまとめ、下記まで電話にてお申込みください。　＜受付＞山形県看護協会　担当　石山
※申込み期限：10月4日(金)　(023-685-8033)

①定　価：1部　1，260円(消費税込)　②送料：無料(県協会取り纏め分のみ)
③変更点：「日本看護連盟規約」が追加

＜医療・看護安全対策委員会＞

◆医療安全管理者研修修了者スキルアップ交流会開催

1.日時:平成25年10月24日(木) 10:00～16:00(受付9:00～)
2.会場:山形県看護協会会館
3.参加費:1,000円
4.講師:日本看護協会出版会損害保険部「看護職賠償責任保険制度」
サービス推進室　部長(兼)室長　　平林明美
5.内容:グループワーク「看護職賠償責任保険制度」の講義
※皆様、多数ご参加ください。お待ちしております。

◆平成25年度通常総会要綱　誤り訂正について

平成25年度通常総会要綱に誤りがございましたので、下記の通り訂正してお詫び申し上げます。

頁	箇所	誤	正
表紙裏	ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ「地域とともに築く看護」3行目	障害の資格	生涯の資格
41	助産師職能委員会 実施状況と結果 1)②	参加医療保障制度	産科医療保障制度
218	目標と事業内容 1)e	介護報酬海底	介護報酬改定
228	表の見出し	所得価格	取得価格
229	財産目録 II.1	借受金	仮受金
280	保健師職能委員会	佐藤　千香子	佐藤　智香子
281	常任委員会 2. 広報委員会	菊地　綾子 武田　好美	高橋　伸江 武田　好史
283	訪問看護ステーションべにばな	眞木　美佳	(削除)

ナースセンターだより

看護師等職場説明会

平成２５年５月４日(祝)、山形テルサアプローズで「看護師等職場説明会」が開催されました。

今年度は、参加対象を県内・外の看護学校に在学する、平成２６年３月卒業見込みの看護学生、再就業をお考えの看護職、また未就業の看護職とし、就職活動中の看護学生等に対して、より詳しい看護内容や採用条件を聞くことができる説明会としました。

今回は、４６病院、求職者８２名の参加があり、昨年度より少人数ではありましたが、各病院の担当者とじっくり話をすることができ、就職活動の参考になったのではないかと思います。

参加者からは、実際に働いている方のお話しを聞くことができ、参考になった、ホームページだけではわからない事がわかった、就職したい病院のイメージが固まった等の感想をいただきました。

県内就職につながることを願っております。

看護学生フレッシュ説明会

平成２５年８月１０日(土)、山形テルサアプローズで「看護学生フレッシュ説明会」が開催されました。

この催しは、看護学生に早い時期から県内病院の魅力を知ってもらうことで、県内の看護職確保対策につながることを目的に今回初めて開催されました。当日は県内４５病院の参加がありました。

今回は、就職活動前の看護学生１・２年生(大学３年生)を対象とし、看護学生４０名の参加がありました。また、ブースでの病院担当者との面談の他に、中・高校生への進路相談のコーナーを設置し、中・高校生１２名の参加がありました。参加した中・高校生のみなさんは、ほとんどの方が看護職を志しており、受験内容や看護学校の詳細を熱心に聞いておりました。

また今回は、スタッフが山形県看護協会のマーク入りのＴシャツを着て運営にあたりました。山形県看護協会のＰＲにもつながったのではないかと思います。

看護職のWLB通信

第84号より
(平成25年7月30日発行)

労働時間管理でお悩みの看護管理者の皆さまを対象に、「看護管理者のための労働時間管理相談窓口」を開設しました。こちらの相談窓口では、「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」を受けて、勤務体制の見直しに取り組むにあたっての疑問にもお答えします。

迷った時はぜひ、「看護管理者のための労働時間管理相談窓口」をご利用ください。

URL:http://www.nurse.or.jp/home/questionnaire/index.cgi?eid=72

訪問看護師養成講習会

6月25日より、平成25年度「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会が始まりました。

今年度は、受講者15名が現在頑張っています。

訪問看護にご興味のある方は、公開講座にぜひお申込みください！お待ちしていま～す。

【公開講座】
平成25年10月12日(土) 9:30～15:30
緩和ケアの実際
在宅における終末期の看護

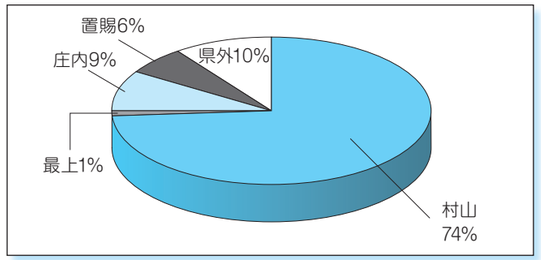
お申込み：山形県看護協会　事業課　TEL:023-685-8033

Vol.122

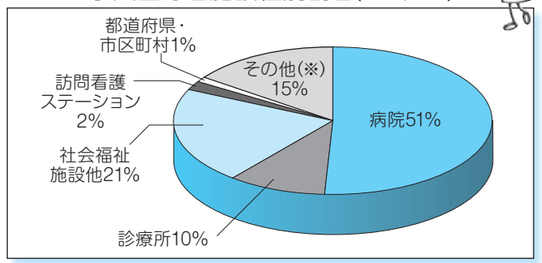
平成24年度山形県ナースセンター事業実績

平成２４年４月１日～
平成２５年３月３１日

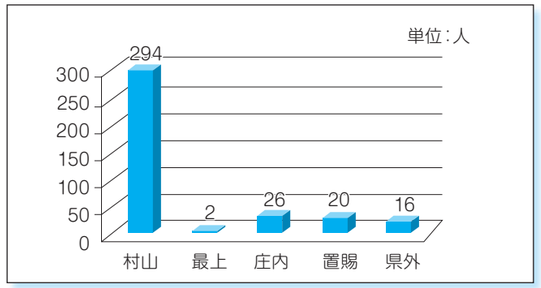
地域別求職登録者割合(n=979)



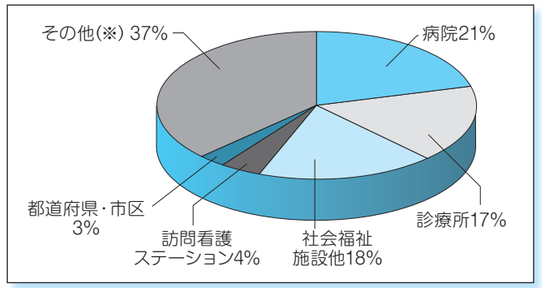
求人登録者施設種別割合(n=1,896)



地域別就業者数



就業者施設別割合 (n=358)



(※) その他とは、会社、事業所、健診センター、保育園、幼稚園、救護（イベント）などである。

e-ナースセンター に登録しよう!!

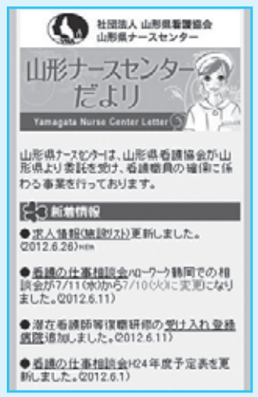
スマートフォンからぜひご登録ください

山形県看護協会HPから、登録票をダウンロードできます。郵送・FAXでも受付しています。

①こんな時は必ずナースセンターへご連絡ください。
1) 就職先が決まった時（自己就職・職安就職も含む）
2) 氏名・住所・電話番号が変わった時
3) 求人施設で採用が決まった時や、充足した場合

②登録有効期間は、求人・求職ともに6ヵ月です。
継続の場合は更新の手続きが必要ですので、ご連絡ください。

携帯サイト 山形ナースセンターだより を活用しよう!!



QRコードから求人情報をチェックしてみよう！

詳しくは、PC・携帯から
「山形ナースセンターだより」を検索!!

山形ナースセンターだより　検索

山形県ナースセンターにおける求職登録

職種別登録状況　　平成２５年８月８日現在

職　種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
登録者数	18	5	187	31	241

内訳（登録者241名のうち）
未就業登録者　125人
就業中登録者　112人
有資格学生登録者　3人
無資格学生登録者　1人

山形県ナースセンター（山形県看護協会内）
e-mail:yamagata@nurse-center.net 直通☎023-646-8878

平成25年度「看護の日」及び「看護週間」事業

将来の私

2013年度「看護週間」全国キャラバンＰＲバスがやって来た！（東北文教大附属幼稚園）

ディーオ君と一緒に…

ハンドマッサージ、気持ちいいわぁ

かわいいでしょ！

看護の日イベント 健康まつり

―地域に広がる笑顔の看護―〜いつもとなりに〜

5月12日は国の制定する「看護の日」です。“看護の心をみんなの心に”を全国統一のメインテーマに、今年は看護週間を全国にＰＲするキャラバンバスが5月14日、山形県を通過しました。5月18日、山形県看護協会会館で「健康まつり」を開催し、しゃんしゃん体操、食事づくり、ラクターヨガ体験など、多くの参加者で賑わいました。

赤ちゃんってかわいいね

骨・元気？

しゃんしゃん体操

健康生活の食事づくり

ラクターヨガでワッハッハ！

夏まつり「山形大花火大会観賞会」

みんなで迎えよう！

8月14日（水）、恒例の山形大花火大会観賞会を山形県看護協会3階第1研修室を開放し、夜7時過ぎから多くの方が訪れ一緒に観賞しました。大人88名、子ども39名、車椅子利用者5名の参加があり、大盛況でした。子どもたちはトトロやポニョのDVDを見ながら、楽しんでいました。安全・安心をモットーに、夏の楽しい思い出になることを願っています。

すごい花火だね〜！

小さい子どもさんも安心

楽しめたかな？

席を取って始まるぞ！

編集後記

広報委員会に新メンバー3名を迎え、会員及び一般の方々にも親しんで見ていただけるような「山形いぶき」にしていきたいと思います。

山形いぶき 第122号 編集／広報出版委員会 発行／平成25年8月31日 公益社団法人山形県看護協会 〒990-2473 山形市松栄1-5-45（アルカディアソフトパーク山形内）TEL023-685-8033